

## 第20回 介護・医療連携推進会議報告

平成29年1月23日 16時00分～

ケア・オフィス 優 (介護看護課)

### <出席者>

小樽市医療保険部 介護事業所担当主幹	佐藤 正樹 様
小樽市医療保険部 介護保険課 給付係	成田 哲也 様
南部地域包括支援センター	渡辺 紳一 様
中部地域包括支援センター	内藤 尚代 様
東南部地域包括支援センター	川尻 輝記 様
北西部地域包括支援センター	本間 潔 様
ケア・オフィス 優 管理者	二丹田 早稲子
ケア・オフィス 優 介護福祉士	屋代 利恵子
ケア・オフィス 優 事務職員	齋藤 智世

### 1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス 集計報告

#### ① 10月、11月、12月の集計

- ・新患→1名 (人工肛門、バルーンカテーテル設置)
- ・終了→3名 (サ高住入居2名、死去1名)
- ・現在10名 **ターミナル期はおらず、最高齢93歳**

#### ② 疾患の別

- ・脳梗塞後遺症
- ・変形性膝関節症
- ・脊髄小脳変性症
- ・視神経脊髄炎
- ・廃用症候群
- ・糖尿病
- ・アルツハイマー型認知症
- ・パーキンソン病
- ・脳血管性認知症
- ・大腸がん術後

#### ③ エリア

幸～桜町

### 2. 定期巡回サービス内容報告

- ① 排泄介助 (パウチ便廃棄、バルーンバック尿廃棄、おむつ交換、ポータブルトイレ処理)
- ② 血糖計測とインスリンの声かけ、見守り
- ③ 軽微な傷の処置
- ④ 配膳、下膳、食事介助
- ⑤ 内服介助、確認
- ⑥ 起床、就寝介助
- ⑦ 買い物、調理、洗濯、掃除などの生活支援
- ⑧ 洗顔、清拭、洗髪、足浴、手浴、口腔ケア
- ⑨ 更衣、体位交換
- ⑩ 介護相談
- ⑪ 通院介助 (自費)
- ⑫ 入浴介助

### 3. 随時対応サービス内容報告

- ① 転倒後、腰痛がある
- ② 血圧上昇
- ③ 喘鳴がある
- ④ 腰痛（圧迫骨折後）にて動けない
- ⑤ 不安時の電話相談（ご家族から）
- ⑥ 人工肛門からの便漏れ
- ⑦ 下肢痛により動けない
- ⑧ 便失禁（認知症）
- ⑨ 呼吸苦による転倒
- ⑩ 呂律が回らない
- ⑪ 内服の飲み間違えがある
- ⑫ 目薬が見つからない

\*要請者は殆どがご家族と定期ヘルパーより。ご本人からのコールは2名のみ

### 4. 随時訪問サービス内容報告

- ① 失禁対応
- ② 目薬介助
- ③ 様子観察後、看護師要請

### 5. 訪問看護緊急対応内容報告

- ① 体調不良により、受診伺し
- ② 人工肛門処置（パウチ交換）
- ③ 転倒、体調不良、痛みなどの対処

### 6. 現状報告

- ・看護師正職員→12月～1名、1月～1名採用も、1月にて1名の登録職員、3月にて2名の職員の退職が決まっている状況。引き続き、職員採用に尽力していく。

### 7. 問い合わせ状況

- ・現状サービスにて単位オーバーがあり、サービス移行を希望。1日3食車いすへ移乗し、1時間後にベッドへ再移乗。生活支援とおむつ交換、起床・就寝介助の要望。現状、定期巡回でのサービス提供も困難と説明。ベッド上での食事を提案したが拒否。

### 8. 外部評価について

- ・皆様からのご意見を表へ一括入力⇒別紙参照
- ・再度、ご意見などがあれば、追記して提出予定
  - ・[昨年の外部評価を受け、安全管理について訪問時の防犯マニュアル作成。](#)  
例) 反射板をとりつける、防犯ブザーを持ち歩くなど
  - ・[ショートカンファレンスの定例化](#)  
昼休みの10分程度で、他事業所のケアマネジャーへ参加の呼びかけはできていないが、スタッフ間の情報交換、注意点の再確認等行い、他事業所のケアマネジャーには書面にて報告実施。

## 9. 役員の皆様から助言など

- 冬期間の排雪が追い付かず、駐車スペースの確保が難しくなっている。デイサービスなども苦勞しているようであり、各団体と意見交換を行い声を上げていくことが必要と思われる。
- 定期巡回サービスに直接的に関係ないかもしれないが、4月から全面的に介護予防給付から総合事業へ移行することにより、サービス担当者会議の取り扱い等、包括支援センター会議にて話し合わせ、決まり次第、サービス事業者に伝達の予定。

## 10. その他

\*お薬の預かりに関して→現在、毎回お届けする方以外、預かりは解消。認知症の方など、ご家族や知人の協力のもと、自宅内に保管。今後、ご本人が気づかない様、配慮が必要ではある。

ご自宅内の薬を触られないところに置くように工夫したり（薬の置き場所の変更の際にはスタッフに都度周知）、かかりつけ薬局に管理、一包化してもらうようにしたりして、預かりを解消し経過している。院内処方された薬袋を他の薬と一包化するため、薬袋を破かなければならないことなどについては、主治医より了承を得ている。

また、湿気の問題で、一度に薬を届けることが難しい場合など、薬局に保管して1週間分ずつ届けてもらうよう配慮している。

定期巡回サービス開始から4月で丸5年となるが、利用者層としては、当初の訪問ではガン末期や頻回な随時訪問も多かったが、最近のご夫婦での利用や認知症の増加が目立つように感じる。

また、もう1ヶ所開設された定期巡回サービス事業所とは、形態は異なるが、同事業として情報交換を行い、会議内でも報告したいと考える。